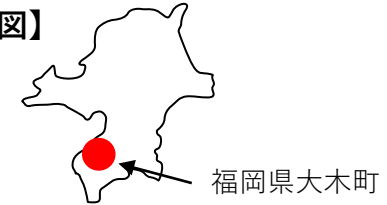


畝立作業の省力化と最適な機械選定に資する実践研修

- 「株式会社NJアグリサポート」は2015年に福岡県南部の大木町に設立。大木町は温暖多雨の穏やかな気候のほぼ平坦な田園地帯となっており、九州の穀倉地帯筑後平野のほぼ中央にある、県内屈指のイチゴの生産地でもある。
- 新規就農希望者に対し、就農後の営農を見据えた具体的な機械選定能力と、イチゴ栽培における効率的な作業技術を習得させるため、本事業を活用し、実習環境を整備した。

【位置図】



福岡県大木町

取組前

- 当研修施設では、機械通過後の残土の溝上げ作業が最小となり、畝立作業の大幅な効率化が期待できるイチゴ畝立成形機付管理機を所有していなかったため、研修生が当該技術を実践的に経験する機会がなかった。
- 研修生は就農時の機械選定に具体的なイメージを持てず、「高価な機械を導入して本当に費用対効果が得られるか分からない」といった不安を抱え、就農後の機械化投資判断に迷いが生じる一因となっていた。

取組内容

- 研修生に、作業負担軽減と時間短縮に繋がる知識と技術を習得させるため、イチゴ畝立成形機付管理機1台を導入した。
- 既存の管理機でも畝立作業を実施して、両機の作業時間・労力を比較体験することで、就農時の経営規模等に最適な機械を見極める実践的なイメージと判断能力を養うことを目指した。
- 43aの研修圃場において、研修生3名に対し、延べ9回、計18時間の実習を実施した。

取組後(成果)

- イチゴ畝立成形機付管理機の導入により、実習の畝立作業時間が、平均3時間から2時間へと短縮された。削減された時間と労力は、整地作業や休息時間に振り分けられ、研修全体の質の向上に寄与している。
- 事業実施以降に研修を修了し就農した3名中3名が、就農時にイチゴ畝立成形機付管理機を購入した。導入前の3名中0名だった意向から、100%の増加となった。

【サポート体制】

- ①技術習得
→ 自社農場
- ②就業
→ 自社農場他
- ③農地の確保
→ 農業委員会等
- ④資金・補助事業等
→ JA・農業振興課等

新規就農者や研修生の声

- 溝に残る土がほとんどないため、溝上げにかかる負担が減った。
- 畝がしっかり立つので、その後の作業が楽に感じる。
- （当該管理機は）少々高額だがそれよりもメリットの方が大きい。

サポート体制構築事業 活用年度：令和5年度

【問合せ先】（株）NJアグリサポート
TEL：0944-33-0815
E-mail：nishitetsu-agri@njagri.nnr.co.jp
HP：https://nishitetsu-agri.jp/